



図書館だより



NO.304 2023年10月号
(2023年10月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話 (0829) 20-0333
廿日市市下平良 1-11-1



ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

人形劇がやってくる!

はつかいち市内で活躍しているボランティア団体「どんぐり座」「おはなしスタジオ」による人形劇などの公演です。

観覧をご希望の方は、市ホームページの専用フォームでお申し込みください。

とき	令和5年11月18日(土) 10:30~11:30(開場10:00)
ところ	ウッドワンさくらぴあ リハーサル室
内容	人形劇「おむすびころりん」他
対象	3歳以上の幼児(保護者同伴)
定員	45名程度



《申込方法》

市ホームページの応募専用フォームから
(QRからどうぞ)



- ※ はつかいち市民図書館ホームページのお知らせからも、応募専用フォームへアクセスできます。
- ※ 入力していただいた個人情報は、公演後に破棄します。

《応募時の注意》

- ※ 1回の応募で、代表者の方を含めて3人まで応募できます(3歳以上)。3歳未満の方については、人数のみを選択してください。
- ※ 応募は1組につき1回限りです。

《応募期間》

令和5年10月1日(日) 0:00から
令和5年10月31日(火) 23:59まで

- ※ 応募者全員に結果をメール通知します。応募者多数の場合は抽選になります。応募フォームに入力したメールアドレスに図書館からの通知が届くよう、@city.hatsukaichi.lg.jpのドメイン受信が可能な設定をお願いします。

《お願い》

- ※ ご観覧をキャンセルされる場合は、はつかいち市民図書館までご連絡ください。その際はお電話での連絡をお願いします。(抽選結果メールに返信はしないでください。)
TEL:(0829)20-0333
- ※ 当日、熱がある、咳が出るなど体調の優れない方はご参加をお控えください。
- ※ 当日は駐車場の混雑が予測されるため、公共交通機関でご来場ください。

《問い合わせ先》

はつかいち市民図書館
TEL (0829) 20-0333
平日 9:00~19:00
土日祝 10:00~18:00

今月の展示

《中央展示》

『空き家活用のヒントあります!』

廿日市市役所には市内の空き家に関する相談窓口があるのをご存じですか? 空き家を貸したい、売りたい、住みたいと考えている方は、ぜひご利用ください。

10月の中央展示では空き家、不動産、リノベーション、片づけなどに関する資料を展示しています。

《テーマ展示》

『歌川広重と東海道五拾三次』

令和5年9月30日(土)~12月3日(日)
ウッドワン美術館にて「歌川広重 二つの東海道五拾三次~保永堂版と丸清版~」が開催中です。はつかいち市民図書館では、歌川広重の浮世絵や東海道五拾三次に関する資料を展示しています。

《企画展示》

『臓器移植について ~だれかのいのちを救うきっかけになるかもしれない~』

臓器移植は病気や事故によって臓器の機能が低下し、移植でしか治らない人に、他の人の臓器を移植し健康を回復する医療で、10月は、臓器移植普及推進月間です。

一度、大切な人たちと、臓器移植について話してみませんか。知らない誰かや家族、自分の命を救うきっかけになるかもしれません。(協力:公益財団法人 ひろしまドナーバンク)

展示期間: 9月29日(金) ~ 10月25日(水)

新しく入った本(一般書)

図書館に新しく入った本の一部を紹介します。

- 『量子コンピュータの頭の中』 東野仁政/著 技術評論社 007.1 ッ
- 『忘れながら生きる』 群ようこ/著 文藝春秋 B019.9 ム
- 『泣きたい日の人生相談』 岸見一郎/著 講談社 S159 キ
- 『原爆初動調査隠された真実』 NHK スペシャル取材班/著 早川書房 S210.7 ケ
- 『業務改善の問題地図』 沢渡あまね/著 技術評論社 336.2 サ
- 『大学職員のリアル』 倉部史記/著 中央公論新社 S377.1 ク
- 『日本列島誕生のトリセツ』 高橋典嗣/監修 昭文社 455.1 ニ
- 『なぜヒトだけが老いるのか』 小林武彦/著 講談社 S491.3 コ
- 『いつもの食材で体がととのうレンチン薬膳ごはん』 齋藤菜々子/著 家の光協会 596 サ
- 『メダカが増やせる本』 馬場浩司/監修 世界文化社 666.9 メ
- 『絵本作家降矢なな』 降矢なな/画 MIMOseele/編 共同文化社 726.6 フ
- 『スポーツの価値』 山口香/著 集英社 S780.4 ヤ
- 『日本のことを1分間英語で話してみる カラー改訂第2版』 広瀬直子/著 KADOKAWA 837.8 ヒ
- 『行動する詩人栗原貞子』 松本滋恵/著 溪水社 911.5 ク
- 『世界でいちばん透きとおった物語』 杉井光/著 新潮社 BF ス
- 『アイヌ神謡集』 知里幸恵/編訳 中川裕/補訂 岩波書店 B929.2 フ
- 『思い出すこと』 ジュンパ・ラヒリ/著 中嶋浩郎/訳 新潮社 971 ヲ



たなかけんいち

田中健一さん講演会 月刊「かがくのとも」ができるまで

-「かがく」の楽しさを伝える編集者のお仕事-

を開催しました。

田中健一さんは、子どもの本の出版社、福音館書店で1969年から50年を超えて発刊され続けている月刊誌「かがくのとも」の編集者として活躍中です。長年愛されている「かがくのとも」は、どのように作られているのでしょうか？ 出来上がった本からは見えない編集者の思いや工夫など編集の仕事について講演の内容をお伝えします。 ❀❀❀❀❀



～幼児に科学を伝える～

幼児という時期に、この世界の素晴らしさ、美しさを見つめ、心の根底に人生や世界を肯定し信頼を養うための「科学」と出会う。つまり、幼児向けの科学絵本は、一生を支える生きる力を、心の奥底で養うもので、知育ではないということです。

～編集とは何か？～

編集者は、その作品を読む最初の読者で「黒子」。テーマに沿って作家を選び、その作品に合った文が幼児に通じるかどうかを見極めて、作家に伝える役割を担っています。同誌の編集者は、現在4人。創刊の1969年前後は、大阪万国博覧会開催などで科学への期待が膨らんでいた時期でした。科学が進めば正しいことが明らかになって、二度と戦争のような過ちを犯さない、という期待があったのではないかと田中さんは言います。

～科学の絵本を作る～

ひとつのテーマで数年の製作期間がかかる「かがくのとも」。大勢の子どもたちに向けて作るため、その題材が読者対象の6歳児に文章や絵で説明できるかどうかをテーマを選ぶひとつの目安になっています。テーマは人文、自然、社会の各科学分野に、遊び・工作に分かれ、その中に「乗り物」や「昆虫」「植物」など人気のあるテーマが入ってきます。

「かがくのとも」は、図鑑にはない、物語の流れをもつ絵本形式を大切にしているそうです。物事を最初から最後まで、時間の流れを追って描くことが出来る絵本形式は、対象となる生きものや植物を深く知ることに寄与し、この世界の美しさを伝えやすい表現形式だからだとのこと。実際に「乗り物」「自然」「あそび工作」の絵本の参考例となる絵本3冊を投影しながら、物語の流れを意識した科学絵本を作る際のポイントを紹介していただきました。



参考例として紹介された「かがくのとも」
乗り物絵本
『うみのみちるべ』(2021年2月号)
自然の絵本
『ほたるのひかりかた』(2022年6月号)
あそび工作の絵本
『こどもおこのみしょくどう』(2023年9月号)

田中さんは、幼児向け科学絵本の意義について、「子ども時代にこの世界への信頼感を構築させること」だとお話されていました。編集者の名前は表には出てきませんが、お話を伺った後に改めて絵本を開くと、「かがくのとも」編集部の皆さんの思いが伝わってくるようです。これから毎月どんな「かがくのとも」が届くのか、さらに楽しみになる講演会でした。



参加者の質問に答えて…



Q.今まで担当した中で印象に残っている絵本は？

A.『へんしんするゆび』(2014年3月号)。紙媒体にしか出来ない絵本を作ろうと意気込んだ思い入れのある号。

Q.新人の作家さんを発掘するのに心掛けていることは？

A.足を使って探すこと。才能があるけれど今は活動されてない方、受賞経験のある方を探したり、別の分野で活躍する方でもワークショップに足を運んで、作家さんの子どもへの接し方を見てお願いすることもなどもある。

Q.最初の読者として、はじめて作品を見る時に着目するポイントは？

A.面白いかどうか。伝わるかどうか。作品になっているかどうか。26ページ上手くなくても、一場面輝くもの(作者の一番表現したいこと。コアになるもの)が見つかれば、そこを膨らませていく。



令和5年10月21日(土) 18時15分~19時

申込：10月7日(土) 10:00~ はつかいち市民図書館へ直接、

または電話 (0829-20-0333) で

図書館初心者大歓迎!

場所：はつかいち市民図書館 対象：小学生以上 定員：12名(先着)

内容：閉館後の図書館で、資料の並び方、場所、書庫の中を司書が案内します



10月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6 ◎	7
8	9	10	11	12	13	14 ☆
15	16	17	18	19	20 ◎	21
22	23	24	25	26 休館	27	28 ☆
29	30	31				



◎ ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【定員】各回先着6組程度

※整理券が必要です。

【時間】1回目 10時30分~

2回目 11時~

整理券は、相談カウンターで配布しています。

☆ おはなし会

【対象】幼児~小学校低学年

【時間】11時~